

企業向けアンケート調査の実施について

調査目的

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の施行に合わせ、県推進計画を策定する。

計画策定にあたり、県内企業における女性活躍の現状を把握するためのアンケート調査を実施し、結果を県推進計画の施策等に反映する。

実施概要

(1)概要

県内企業1,000社を対象に、経営者及び従業員（男女各1名）を対象に2種類のアンケート調査を実施する。

(2)調査方法

- ・企業一社に対し、経営者向け1通と従業員（男女）向け2通の合計3通の封筒を一括で郵送する。
- ・従業員向け封筒は、男女とも五十音順の名簿で最初となる人への配布を依頼する。
- ・封筒は、経営者向けと従業員向けで色分けした上で、従業員向けは密封する。
- ・封筒には、調査票、回答票、返信用封筒をそれぞれ同封する。
- ・回答者には、それぞれ返信用封筒により回答票を投函してもらう。

(3)スケジュール

- ～7月下旬 調査票の設計
- 7月下旬 総務省届出
- 9月上旬 配布
- 10月上旬 回収
- 10月下旬 集計
- 11月中旬 分析・結果とりまとめ

(4)アンケート内容

①経営者向け

- ・事業所の概要
- ・女性の処遇の考え方・取組内容
- ・両立支援のための制度の利用状況
- ・女性活躍推進の取組内容・メリット・課題
- ・行政への期待
- ・女性活躍推進法

②従業員向け（男女共通）

- ・回答者の属性
- ・職場環境
- ・昇任意向
- ・セクハラ・マタハラ
- ・育児休業の取得状況
- ・子どもが病気になった時
- ・女性活躍推進の課題
- ・行政への期待

(5)その他

別途、選定した企業及び女性団体に対し、ヒアリングを実施する。

職場における女性の活躍に関するアンケート調査 《経営者向け》

【記入上のお願い】



- 選択式の場合、当てはまる番号に○をつけて下さい。なお、「その他」を選択された場合は、()内に具体的内容をお書き下さい。
- 直接回答を記入していただく場合は、記入欄にお書き下さい。
- 本調査のご回答内容を統計上の目的以外に使用することはありません。

大変恐縮ではございますが、平成27年 月 日()までにご返送下さい。

問1 貴社・貴事業所の概要についてお書き下さい。

所在地 (市町村名)	() 市・町・村																		
業種	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 農業</td> <td style="width: 50%;">2. 林業</td> </tr> <tr> <td>3. 漁業</td> <td>4. 鉱業, 採石業, 砂利採取業</td> </tr> <tr> <td>5. 建設業</td> <td>6. 製造業</td> </tr> <tr> <td>7. 電気・ガス・熱供給・水道業</td> <td>8. 情報通信業</td> </tr> <tr> <td>9. 運輸業, 郵便業</td> <td>10. 卸売業, 小売業</td> </tr> <tr> <td>11. 金融業, 保険業</td> <td>12. 不動産業, 物品賃貸業</td> </tr> <tr> <td>13. 学術研究, 専門・技術サービス業</td> <td>14. 宿泊業, 飲食サービス業</td> </tr> <tr> <td>15. 生活関連サービス業, 娯楽業</td> <td>16. 教育, 学習支援業</td> </tr> <tr> <td>17. 医療, 福祉</td> <td>18. その他 ()</td> </tr> </table>	1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	5. 建設業	6. 製造業	7. 電気・ガス・熱供給・水道業	8. 情報通信業	9. 運輸業, 郵便業	10. 卸売業, 小売業	11. 金融業, 保険業	12. 不動産業, 物品賃貸業	13. 学術研究, 専門・技術サービス業	14. 宿泊業, 飲食サービス業	15. 生活関連サービス業, 娯楽業	16. 教育, 学習支援業	17. 医療, 福祉	18. その他 ()
1. 農業	2. 林業																		
3. 漁業	4. 鉱業, 採石業, 砂利採取業																		
5. 建設業	6. 製造業																		
7. 電気・ガス・熱供給・水道業	8. 情報通信業																		
9. 運輸業, 郵便業	10. 卸売業, 小売業																		
11. 金融業, 保険業	12. 不動産業, 物品賃貸業																		
13. 学術研究, 専門・技術サービス業	14. 宿泊業, 飲食サービス業																		
15. 生活関連サービス業, 娯楽業	16. 教育, 学習支援業																		
17. 医療, 福祉	18. その他 ()																		

<問2~4は、平成27年4月1日時点でお答え下さい。>

問2 貴社の従業員の状況について、以下の各問にお答え下さい。

(1) 貴社の男女別・雇用形態別の従業員数をお書き下さい。また、分かれば正規社員の平均勤続年数をお書き下さい。

	従業員数		正規社員の 平均勤続年数
	正規社員	非正規社員	
男性	人	人	年
女性	人	人	年

(2) 貴社の管理職員数をお書き下さい。

	役員数 ^{※1}	管理職員数 ^{※2}	総数
男性	人	人	人
女性	人	人	人

※1 役員は取締役・会計参与・監査役等を指します。

※2 管理職員は課長・課長相当職以上（課長、部長等）を指します。ただし、役員は除きます。

(3) 貴社の直近3年間の新規採用者数をお書き下さい。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	総数
男性	人	人	人	人
女性	人	人	人	人

問3 貴社では、女性のいない職種がありますか。また、今後、女性を増やそうと思っている職種がありますか。当てはまるものに○を付けて下さい。

	女性のいない職種	女性を増やそうと思っている職種
事務系		
営業系		
技術系		

問4 貴社にある部門はどれですか。また、女性のいない部門、今後、女性を増やそうと思っている部門がありますか。当てはまるものに○を付けて下さい。

	貴社にある部門	女性のいない部門	女性を増やそうと思っている部門
人事・総務・経理			
企画・調査・広報			
研究・開発・設計			
情報処理			
営業			
販売・サービス			
生産			
その他			

問 5 問 3、問 4 で「女性を増やそうと思っている職種・部門」の欄に○を付けた方にお伺いします。貴社で行っている女性の応募を増やす取組の内容として当てはまるものを全てお選び下さい。

1. 会社案内、HP 等で社内で活躍している女性を積極的に紹介している
2. 求人先に女性の多い学校、学科等を含めるている
3. 女性求職者を対象とした職場見学会の実施している
4. 特に実施していることはない
5. その他 ()

問 6 問 3、問 4 で「女性を増やそうと思っている職種・部門」の欄に○を付けた方にお伺いします。貴社で行っている職域拡大*の取組の内容について、当てはまるものを全てお選び下さい。
※「職域拡大」とは、これまで女性が少なかった職種や職務に積極的に女性を配置することを言います。

1. 配置する女性の教育訓練を行っている
2. 同一部署に複数の女性を配置する等の人事方針を策定している
3. 自己申告制度、社内公募制度等を導入した
4. 女性を受け入れた経験が少ない管理職に対する研修を行っている
5. 男女ともに作業しやすいよう作業方法、作業工程を見直した
6. 体力面での個人差を補う器具・設備等を設置した
7. 女性の採用にあわせ、女性専用のトイレ室を設置した
8. 女性専用の休憩室を設置した
9. 女性専用のロッカーを設置した
10. 特に実施していることはない
11. その他 ()

問 7 今後管理職の登用にあって、女性を積極的に登用しようと考えていますか。当てはまるものを1つお選び下さい。

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 女性を積極的に登用していきたい | ⇒ 次ページの 問 8 へお進み下さい |
| 2. 性別にかかわらず能力のある人材を登用していく | } ⇒ 次ページの 問 9 へお進み下さい |
| 3. できるだけ女性の登用は避けたい | |

※育児・介護休業法で定められている下記の諸制度の概要を参考の上、次ページの **問 12** に
お答え下さい。

育児休業制度

労働者は、その事業主に申し出ることにより、子が1歳に達するまで（両親ともに育児休業を取得する場合は、子が1歳2か月に達するまでの間に1年間）の間、育児休業をすることができる。

※ 育児休業については、次のいずれにも該当する有期契約労働者も対象

- ① 同一の事業主に引き続き雇用された期間が1年以上であること
- ② 子が1歳に達する日を超えて引き続き雇用されることが見込まれること（子が1歳に達する日から1年を経過する日までに雇用関係が終了することが申出時点において明らかである者を除く）

介護休業制度

労働者は、その事業主に申し出ることにより、対象家族1人につき、常時介護を必要とする状態に至るごとに1回、通算して93日まで、介護休業をすることができる。

※ 介護休業についても育児休業制度と同様の考え方で有期契約労働者も対象

子の看護休暇制度

小学校入学までの子を養育する労働者は、その事業主に申し出ることにより、小学校就学前の子が1人であれば年に5日まで、2人以上であれば年10日まで、病気・けがをした子の看護等のために、休暇を取得することができる。

介護休暇制度

要介護状態にある対象家族の介護を行う労働者は、その事業主に申し出ることにより、要介護状態にある対象家族が1人であれば年に5日まで、2人以上であれば年10日まで、介護のために、休暇を取得することができる。

短時間勤務等の措置

事業主は、3歳に満たない子を養育する労働者が希望すれば利用できる短時間勤務の措置を講じなければならない。（短時間勤務とは1日の所定労働時間を原則として6時間とする措置を含むものをいう。）

事業主は、常時介護を必要とする状態にある対象家族の介護を行う労働者で介護休業をしていないものについて、次のいずれかの措置を講じなければならない。

短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰り上げ下げ、介護費用の援助措置

所定外労働の免除

事業主は、3歳に満たない子を養育する労働者が申し出た場合は、所定労働時間を超えて労働させてはならない。

問 15 貴社で女性の活躍を推進すると、どのようなメリットがあると思いますか。当てはまるものを3つまでお選び下さい。

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 企業イメージが良くなる | 2. 男女を問わず人材が確保しやすくなる |
| 3. 新たな商品やサービスの開発につながる | 4. 販路拡大につながる |
| 5. 仕事の効率化や業務の改善につながる | |
| 6. 従業員の勤務年数が長くなり、職場内にノウハウが蓄積する | |
| 7. 女性従業員のモチベーションが向上する | 8. 男性従業員に良い刺激となる |
| 9. その他 () | |
| 10. 特にない | |

問 16 貴社で女性の活躍を推進する場合、どのような問題・課題があると思われますか。当てはまるものを3つまでお選び下さい。

- | | |
|----------------------------------------|----------------------|
| 1. 経営者や管理職の意識改革が不十分である | 2. 女性従業員の意識改革が不十分である |
| 3. 女性従業員の人材育成が不十分である | 4. 男性従業員からの理解が不十分である |
| 5. 女性の人材が不足している | 6. 女性が担当できる仕事に限られている |
| 7. 交替勤務や夜間の勤務が多い | 8. 残業が多く、家庭との両立が難しい |
| 9. 出産や育児で長期休業したときの代替要員の確保が困難である | |
| 10. 女性に配慮した職場内の施設（女性専用の休憩室等）整備の費用負担が重い | |
| 11. その他 () | |
| 12. 特にない | |

問 17 今後、職場における女性の活躍を推進するため、行政にどのような施策を期待しますか。当てはまるものを3つまでお選び下さい。

- | |
|-------------------------------------------|
| 1. 女性活躍に取り組む企業の表彰及びPRをする |
| 2. 女性活躍に取り組む企業の認定制度を設け、広くPRする |
| 3. 女性活躍に取り組む企業の公共調達への優遇策を導入する |
| 4. 男性が育児休業を取得した企業に奨励金を支給する |
| 5. 従業員の再雇用を行った企業に奨励金を支給する |
| 6. 女性に配慮した職場内の施設（女性専用の休憩室等）整備のための補助金を支給する |
| 7. 女性活躍を推進するアドバイザー等を企業に派遣する |
| 8. 働く女性同士の情報交換や異業種交流等のネットワークづくりを支援する |
| 9. 女性活躍の先進事例・メリット等の情報を企業に提供する |
| 10. 経営者や男性管理者向けのセミナーを実施する |
| 11. 女性管理職を養成するセミナーを実施する |
| 12. ワーク・ライフ・バランスの啓発を行う |
| 13. 男女共同参画の理解促進のための啓発を行う |
| 14. 学校等においてキャリア教育を行う |
| 15. 子育て環境（保育所等）を整備する |
| 16. 行政が率先して、女性の活躍促進に取り組む |
| 17. その他 () |
| 18. 特にない |

職場における女性の活躍に関するアンケート調査 《従業員向け》

【記入上のお願い】



- 選択式の場合、当てはまる番号に○をつけて下さい。なお、「その他」を選択された場合は、()内に具体的内容をお書き下さい。
- 直接回答を記入していただく場合は、記入欄にお書き下さい。
- 本調査のご回答内容を統計上の目的以外に使用することはありません。

大変恐縮ではございますが、平成27年 月 日()までにご返送下さい。

※男女ともに全ての設問が対象です

問1 あなた自身についてお書き下さい。

(1) あなたの年齢について、お選び下さい。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. 19歳以下 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳以上 |

(2) あなたの性別について、お選び下さい。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(3) 配偶者の有無について、お選び下さい。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者がいる | ⇒ 次の(4)へお進み下さい |
| 2. 配偶者がいない | ⇒ 下の(5)へお進み下さい |

(4) 上記の(3)で「1. 配偶者がいる」と回答した方にお伺いします。配偶者の従業状況について、最も当てはまるものを1つお選び下さい。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 働いていない | 2. 正規社員として働いている |
| 3. 非正規社員として働いている | 4. 自営業等のため自宅で働いている |
| 5. その他 () | |

(5) 高校生以下の子どもの有無について、お選び下さい

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 子どもがいる | ⇒ 次のページの(6)へお進み下さい |
| 2. 子どもはいない | ⇒ 次のページの(7)へお進み下さい |

(6) 上記の(5)で「1. 子どもがいる」と回答した方にお伺いします。次の区分ごとに子どもの人数をお書き下さい。

3歳未満	人
3歳以上小学生未満	人
小学生	人
中学生	人
高校生	人

(7) あなたの現在の世帯構成について、当てはまるものを1つお選び下さい。

1. 単身世帯 (一人住まい)	2. 一世代世帯 (夫婦のみ)
3. 二世帯世帯 (親と子ども)	4. 三世帯世帯 (親と子どもと孫)
5. その他 ()	

(8) 親(義親を含む)との同居・近居の状況について、最も当てはまるものを1つお選び下さい。

1. 自分または配偶者の親と同居している
2. 同居はしていないが、いずれかの親が徒歩で10分以内の所に住んでいる
3. 同居はしていないが、いずれかの親が車で30分以内の所に住んでいる
4. 上記いずれにも該当しない

問2 あなたの勤務状態についてお答え下さい。

雇用形態	1. 正規社員 ⇒正規社員の方は下の勤続年数・役職もお答え下さい。 2. 非正規社員		
勤続年数	年	役職	1. 管理職 ※ 2. 管理職以外
勤務先の業種	1. 農業 2. 林業 3. 漁業 4. 鉱業, 採石業, 砂利採取業 5. 建設業 6. 製造業 7. 電気・ガス・熱供給・水道業 8. 情報通信業 9. 運輸業, 郵便業 10. 卸売業, 小売業 11. 金融業, 保険業 12. 不動産業, 物品賃貸業 13. 学術研究, 専門・技術サービス業 14. 宿泊業, 飲食サービス業 15. 生活関連サービス業, 娯楽業 16. 教育, 学習支援業 17. 医療, 福祉 18. その他 ()		

※管理職は課長・課長相当職以上(課長、部長等)を指します。

問3 あなたの職場は、女性にとって働き続けやすい職場だと思いますか。当てはまるものを1つお選び下さい。

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 働き続けやすい | ⇒ 次の 問4 へお進み下さい |
| 2. 働き続けにくい | ⇒ 下の 問5 へお進み下さい |

問4 問3で「1. 働き続けやすい」と回答した方にお伺いします。働き続けやすいと思う理由について、当てはまるものを2つまでお選び下さい。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 定時退社が可能である | 2. 休暇が取りやすい |
| 3. 自分のやり方で仕事が進められる | 4. 待遇・福利厚生が整っている |
| 5. 育児休業がとりやすい | 6. 仕事の成果が正当に評価される |
| 7. 女性従業員が大勢いる | 8. 女性従業員に理解のある管理職（上司）がいる |
| 9. 身近に活躍している女性（ロールモデル）がいる | |
| 10. その他（ | ） |

問5 女性にとって働き続けやすい職場にするためには何が必要だと思いますか。当てはまるものを3つまでお選び下さい。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 職場復帰支援を充実させる | 2. 育児のための休暇制度を充実させる |
| 3. 定時退社を推進する | 4. 男性従業員の意識改革を進める |
| 5. 管理職（上司）の意識改革を進める | 6. 女性従業員の意識改革を進める |
| 7. 在宅勤務制度を充実させる | 8. 女性管理職を増加させる |
| 9. 人事考課基準を明確にする | |
| 10. 女性に配慮した職場内の施設を整備する（例：女性専用の休憩室の設置） | |
| 11. 特にない | |
| 12. その他（ | ） |

問6 あなたの職場で働く上で、女性であることは不利だと思いますか。当てはまるものを1つお選び下さい。

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. 不利だと思う | ⇒ 次の 問7 へお進み下さい |
| 2. 不利だとは思わない | ⇒ 次ページの 問8 へお進み下さい |

問7 問6で「1. 不利だと思う」と回答した方にお伺いします。不利だと思う理由について、当てはまるものを2つまでお選び下さい。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 結婚・出産退職の慣行があるため、仕事を続けにくい | |
| 2. 家事・育児の負担があるため、仕事を続けにくい | |
| 3. 給与・待遇に差を感じる | |
| 4. 任される仕事に差を感じる | |
| 5. 研修・従業員教育に差を感じる | |
| 6. 昇進が難しい | |
| 7. その他（ | ） |

問 8 あなたは、今の職場で、課長相当職以上の管理職になりたいと思いますか。また、現在、管理職の方はなりたいと思いましたが、当てはまるものを1つお選び下さい。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 管理職になりたい (なりたかった) | ⇒ 次の 問 9 へお進み下さい |
| 2. 管理職になりたくない (なりたくなかった) | ⇒ 下の 問 10 へお進み下さい |

問 9 問 8 で「1. 管理職になりたい (なりたかった)」と回答した方にお伺いします。管理職になりたいと思う理由について、当てはまるものを1つお選び下さい。

(回答後は下の **問 11** へお進み下さい)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 給与が上がるから | 2. やりがい・責任のある仕事ができるから |
| 3. 自由裁量の範囲が増えるから | 4. 自分の能力・経験を活かすことができるから |
| 5. 同世代の男性と同程度には昇任したいから (女性限定) | |
| 6. その他 () | |

問 10 問 8 「2. 管理職になりたくない (なりたくなかった)」と回答した方にお伺いします。管理職になりたくないと思う理由について、当てはまるものを1つお選び下さい。

- | | |
|-----------------------------------------|-------------------|
| 1. 責任が重くなるのが嫌だから | 2. 残業が増えるから |
| 3. 自分の能力に自信がないから | 4. 自分の体力に自信がないから |
| 5. 同僚からねたまれるのが嫌だから | 6. 転勤があるから |
| 7. 残業手当が支給されなくなるから | 8. 仕事と家庭の両立が困難だから |
| 9. 今のままで不満はないから | |
| 10. いつまでもこの会社で働き続けるつもりがないから | |
| 11. 周囲に女性の役職者がおらず管理職のイメージが湧かないから (女性限定) | |
| 12. その他 () | |

問 11 過去3年間にセクシャルハラスメント(セクハラ)を受けたり、見聞きしたことがありますか。当てはまるものを全てお選び下さい。

- | | | |
|-------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 1. セクハラを直接受けたことがある | } ⇒ 次の 問 12 へお進み下さい | |
| 2. セクハラを見聞きしたことがある | | } ⇒ 次ページの 問 13 へお進み下さい |
| 3. セクハラを受けたり、見聞きしたことはない | | |

問 12 問 11 で「1. セクハラを直接受けたことがある」と回答した方にお伺いします。セクハラを受けた際、どのように対応しましたか。当てはまるものを全てお選び下さい。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 我慢した・誰にも相談しなかった | 2. 配偶者に相談した |
| 3. 配偶者以外の家族に相談した | 4. 会社の相談窓口で相談した |
| 5. 上司に相談した | 6. 同僚に相談した |
| 7. 友人・知人に相談した | 8. 社外の労働相談窓口や公的機関に相談した |
| 9. その他 () | |

問 13 過去 3 年間にマタニティハラスメント（マタハラ）※¹またはパタニティハラスメント（パタハラ）※²を受けたり、見聞きしたことがありますか。当てはまるものを全てお選び下さい。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. マタハラまたはパタハラを直接受けたことがある | ⇒ 次の 問 14 へお進み下さい |
| 2. マタハラまたはパタハラを見聞きしたことがある | |
| 3. マタハラまたはパタハラ受けたり、見聞きしたことはない | |

※1「マタニティハラスメント」とは、働く女性が妊娠・出産を理由に解雇・雇い止めをされることや、妊娠・出産・育児に関して職場で受ける精神的・肉体的な嫌がらせのことを言います。

※2「パタニティハラスメント」とは、働く男性が育児休業をとったり、育児支援目的の短時間勤務制度等を活用して育児参画することを職場の上司や同僚が妨げたり、嫌がらせをしたりすることを言います。

問 14 問 13 で「1. マタハラ、パタハラを直接受けたことがある」と回答した方にお伺いします。マタハラ、パタハラを受けた際、どのように対応しましたか。当てはまるものを全てお選び下さい。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 我慢した・誰にも相談しなかった | 2. 配偶者に相談した |
| 3. 配偶者以外の家族に相談した | 4. 会社の相談窓口で相談した |
| 5. 上司に相談した | 6. 同僚に相談した |
| 7. 友人・知人に相談した | 8. 社外の労働相談窓口や公的機関に相談した |
| 9. その他 () | |

問 15 今あなた（もしくは配偶者）が出産することとなった場合、あなたはどうしたいですか。当てはまるものを1つお選び下さい。

（仮定の質問ですので、未婚の方を含め全ての方がお答え下さい）

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 育児休業※は取得せず、仕事を続けたい |
| 2. 育児休業を取得し、一定期間後、現在の職場に復職したい |
| 3. 子育てのため離職し、当面働きたくない |
| 4. 子育てのため離職し、一定期間後、別の職場に正規社員として就職したい |
| 5. 子育てのため離職し、一定期間後、非正規社員として就職したい |
| 6. その他 () |

※「育児休業」は、法の定めにより、原則として1歳未満の子を養育する全ての男女労働者が取得可能です。また、配偶者が無職であっても取得は可能です。

問 16 あなたは過去 5 年間に育児休業を取得したことがありますか。当てはまるものを 1 つお選び下さい。

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1. 取得したことがある | } ⇒ 次の 問 17 へお進み下さい |
| 2. 取得したことがない | |
| 3. 対象となる子がいない | |

問 17 問 16 で「1. 取得したことがある」と回答した方にお伺いします。

(1) 取得した場合、育児休業期間はどのくらいでしたか。下の回答欄にお書き下さい。(複数の場合は最も近い時期に取得したものをお書き下さい)

() 年 () ヶ月

(2) あなたの育児休業中に代替要員の配置はありましたか。当てはまるものを 1 つお選び下さい。

- | | |
|----------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
| 3. わからない | |

(3) 育児休業中に職場からの情報提供はありましたか。当てはまるものを 1 つお選び下さい。

- | | |
|----------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
| 3. わからない | |

(4) 育児休業からの復職時の配置先はどこでしたか。当てはまるものを 1 つお選び下さい。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 休業前と同じ部署 | 2. 自分の希望で休業前とは別の部署 |
| 3. 会社の指示で休業前とは別の部署 | |

(5) 仕事と育児の両立のために、何が役に立ちましたか。また、実際に利用したかどうかにかかわらず、何が必要だと思いましたか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

	役に立ったもの	必要だったもの
配偶者の協力		
親の協力		
兄弟・親戚・友人等の協力		
育児休業等の育児のための制度		
保育所等の利用		
その他 ()		

問 18 小学生以下の子どもがいる方にお伺いします。

(1) 子どもが急に病気になった時、あなたの職場では休みが取りやすいですか。当てはまるものを1つお選び下さい。

1. 容易に休みが取れる
2. 仕事が忙しくない場合、あるいは代わりの方がいる場合は休みが取れる
3. 休みは取りづらい
4. ほとんど休みは取れない

(2) 子どもが急に病気になった時、家族・地域からの支援はありますか。当てはまるものを全てお選び下さい。

1. 親が助けてくれる
2. 兄弟・親戚・友人等が助けてくれる
3. 地域に行政・公的機関の支援サービスがある
4. 地域に民間の支援サービスがある
5. 配偶者が対応するので支援は不要である

問 19 あなたの職場で「女性の活躍」を推進する場合、どのような課題があると思いますか。当てはまるものを3つまでお選び下さい。

1. 経営者や管理職の意識改革が不十分である
2. 女性従業員の意識改革が不十分である
3. 女性従業員の人材育成が不十分である
4. 男性従業員からの理解が不十分である
5. 女性の人材が不足している
6. 女性が担当できる仕事に限られている
7. 交替勤務や夜間の勤務が多い
8. 残業が多く、家庭との両立が難しい
9. 出産や育児で長期休業したときの代替要員の確保が困難である
10. 女性が働きやすい職場環境にするための施設整備が整っていない
11. その他 ()
12. 特にない

